

## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年11月7日

上場会社名 王子ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3861 URL http://www.ojiholdings.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢嶋 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務グループ経営委員コーポレートガバナンス本部副本部長 (氏名) 武田 芳明 TEL 03-3563-1111  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 平成28年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	692,940	△3.7	33,684	18.4	12,825	△62.1	8,301	△51.9
28年3月期第2四半期	719,197	12.9	28,456	47.9	33,825	106.3	17,250	161.3

（注）包括利益 29年3月期第2四半期 △48,765百万円（－％） 28年3月期第2四半期 112百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.40	8.39
28年3月期第2四半期	17.46	17.43

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	1,841,773	683,715	30.4	566.43
28年3月期	1,934,921	730,915	30.7	600.34

（参考）自己資本 29年3月期第2四半期 559,947百万円 28年3月期 593,476百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,410,000	△1.6	72,000	△2.3	50,000	△19.8	33,000	116.3	33.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	1,014,381,817株	28年3月期	1,064,381,817株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	25,833,743株	28年3月期	75,807,429株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	988,573,587株	28年3月期2Q	988,266,420株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、国内においては、雇用情勢が堅調に推移する中緩やかな景気回復が続いていますが、円高や夏場の天候不順の影響等により力強さには欠けたものとなっています。海外においては、米国は一部に弱い経済指標もみられますが、引き続き景気は緩やかに回復しており、年内の利上げ実施の可能性が指摘されています。先行きについては、利上げ予想、不安定な原油価格、英国のEU離脱問題等が不透明要因になっています。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高 692,940百万円（前年同四半期比3.7%減）、営業利益 33,684百万円（同18.4%増）、経常利益 12,825百万円（同62.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 8,301百万円（同51.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

#### ○生活産業資材

当第2四半期連結累計期間の売上高は、301,815百万円（前年同四半期比0.3%増）となりました。

国内事業では、段ボール原紙は、堅調に推移し販売量はほぼ前年並みでした。段ボールは、前年に対し、ビール・即席麺・青果物関係等が堅調に推移し、販売量は若干増加しました。家庭用紙は、ティシュペーパー、トイレットロールともに販売量は増加しました。紙おむつは、子供用、大人用ともに販売量は増加しました。

海外事業では、東南アジアにおいて、段ボール原紙の販売は堅調に推移し、段ボールの販売も飲料・加工食品関連を中心に堅調に推移しました。

#### ○機能材

当第2四半期連結累計期間の売上高は、103,129百万円（前年同四半期比5.4%減）となりました。

国内事業では、特殊紙の国内販売は、新製品開発・新規顧客開拓に注力し拡販を進めてきたこと等により、前年に対し販売量は増加しました。輸出販売は、新規受注等により前年に対し販売量は増加しましたが、円高の影響により売上高はほぼ前年並みとなりました。感熱紙の国内販売は、堅調に推移しました。

海外事業では、感熱紙の販売量は、北米では減少し、南米・アジアでは増加しましたが、外貨建売上高の円換算額が円高により前年に対し減少しました。

#### ○資源環境ビジネス

当第2四半期連結累計期間の売上高は、127,662百万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。

国内事業では、溶解パルプが輸出向けを中心に販売好調であり、前年に対し増加しました。また、売電事業では、2016年1月の北海道江別市におけるバイオマスボイラの営業運転開始が寄与し売上高が増加しました。

海外事業では、パルプ販売において江蘇王子製紙有限公司生産品の拡販等により前年に対し販売量は増加しましたが、売上高は、パルプ市況の軟化影響及び外貨建売上高の円換算額が円高により減少した結果、減少しました。

#### ○印刷情報メディア

当第2四半期連結累計期間の売上高は、145,491百万円（前年同四半期比5.2%減）となりました。

国内事業では、新聞用紙の売上高は、発行部数減の影響等により前年に対し減少しました。印刷・情報用紙の売上高は、需要減及び市況軟化の影響等により前年に対し減少しました。

海外事業では、江蘇王子製紙有限公司が順調に販売を伸ばし、前年に対し印刷用紙の販売量が増加しました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、為替変動の影響による在外子会社の資産の円換算額の減少等により、前連結会計年度末に比し93,148百万円減少し、1,841,773百万円となりました。

負債は、有利子負債残高が40,198百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ45,948百万円減少し、1,158,057百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比し47,200百万円減少し、683,715百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2017年3月期通期業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、2016年8月2日に公表した連結業績予想を下記のように修正しています。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,430,000	72,000	62,000	38,000	38.44
今回発表予想 (B)	1,410,000	72,000	50,000	33,000	33.38
増減額 (B-A)	△20,000	-	△12,000	△5,000	
増減率 (%)	△1.4	-	△19.4	△13.2	
(ご参考) 前期実績 (2016年3月期)	1,433,595	73,685	62,362	15,257	15.44

当第2四半期連結累計期間で発生した外国為替相場の変動による為替差損の計上により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想を下回る見込みです。

上記の連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は様々な要因により上記の業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 2016年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、2016年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,968	44,817
受取手形及び売掛金	285,954	281,644
有価証券	7,486	7,398
商品及び製品	98,145	93,448
仕掛品	18,921	21,048
原材料及び貯蔵品	80,109	76,056
その他	52,885	49,738
貸倒引当金	△3,438	△3,003
流動資産合計	584,033	571,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	210,163	206,269
機械装置及び運搬具（純額）	414,754	370,449
土地	237,478	239,780
その他（純額）	275,081	248,079
有形固定資産合計	1,137,477	1,064,579
無形固定資産		
のれん	9,836	9,080
その他	13,167	12,785
無形固定資産合計	23,004	21,866
投資その他の資産		
投資有価証券	149,094	144,577
その他	42,932	41,207
貸倒引当金	△1,620	△1,606
投資その他の資産合計	190,405	184,178
固定資産合計	1,350,887	1,270,624
資産合計	1,934,921	1,841,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	198,167	196,113
短期借入金	178,157	170,201
コマーシャル・ペーパー	27,000	25,000
1年内償還予定の社債	20,020	40,000
未払法人税等	7,354	6,953
引当金	3,553	3,467
その他	81,825	77,229
流動負債合計	516,079	518,966
固定負債		
社債	120,000	80,000
長期借入金	432,556	422,332
引当金	6,854	6,718
退職給付に係る負債	52,207	53,302
その他	76,307	76,737
固定負債合計	687,925	639,090
負債合計	1,204,005	1,158,057
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	103,880	103,880
資本剰余金	112,857	112,756
利益剰余金	359,830	334,633
自己株式	△42,638	△14,371
株主資本合計	533,930	536,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,316	26,008
繰延ヘッジ損益	△771	△653
土地再評価差額金	5,463	5,992
為替換算調整勘定	41,369	2,444
退職給付に係る調整累計額	△11,833	△10,743
その他の包括利益累計額合計	59,545	23,048
新株予約権	260	275
非支配株主持分	137,179	123,493
純資産合計	730,915	683,715
負債純資産合計	1,934,921	1,841,773

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
売上高	719,197	692,940
売上原価	560,535	531,269
売上総利益	158,662	161,671
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	71,314	69,740
その他	58,890	58,247
販売費及び一般管理費合計	130,205	127,987
営業利益	28,456	33,684
営業外収益		
受取利息	800	517
受取配当金	1,968	1,748
為替差益	836	—
持分法による投資利益	7,013	910
その他	3,931	3,105
営業外収益合計	14,550	6,281
営業外費用		
支払利息	5,595	3,570
為替差損	—	20,375
その他	3,585	3,194
営業外費用合計	9,181	27,140
経常利益	33,825	12,825
特別利益		
固定資産売却益	102	6,452
その他	80	960
特別利益合計	183	7,413
特別損失		
減損損失	4,599	1,008
固定資産除却損	556	773
その他	1,389	981
特別損失合計	6,545	2,764
税金等調整前四半期純利益	27,464	17,474
法人税、住民税及び事業税	9,913	6,077
法人税等調整額	△2,344	3,357
法人税等合計	7,569	9,435
四半期純利益	19,894	8,039
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	2,644	△262
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,250	8,301



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
四半期純利益	19,894	8,039
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,780	792
繰延ヘッジ損益	△878	106
土地再評価差額金	9	—
為替換算調整勘定	△15,808	△58,112
退職給付に係る調整額	597	942
持分法適用会社に対する持分相当額	△922	△533
その他の包括利益合計	△19,782	△56,805
四半期包括利益	112	△48,765
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△176	△30,510
非支配株主に係る四半期包括利益	288	△18,255

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2016年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2016年5月31日付で、自己株式50,000,000株の消却を実施いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が27,039百万円、資本剰余金が1,076百万円及び自己株式が28,116百万円それぞれ減少しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	280,837	100,218	112,125	139,222	632,404	86,793	719,197	—	719,197
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,095	8,815	23,717	14,256	66,884	46,780	113,664	△113,664	—
計	300,932	109,034	135,842	153,478	699,288	133,573	832,862	△113,664	719,197
セグメント利益 又は損失(△)	7,099	5,810	12,485	△1,162	24,232	3,513	27,746	710	28,456

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、エンジニアリング、商事、物流他を含んでいます。

2. セグメント利益又は損失の調整額710百万円は、主として内部取引に係る調整額です。

3. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	生活産業 資材	機能材	資源環境 ビジネス	印刷情報 メディア	計				
売上高									
外部顧客への売上高	281,087	94,644	102,233	131,976	609,943	82,997	692,940	—	692,940
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,727	8,485	25,428	13,514	68,155	47,734	115,890	△115,890	—
計	301,815	103,129	127,662	145,491	678,099	130,731	808,830	△115,890	692,940
セグメント利益	9,415	7,405	10,388	1,755	28,964	4,372	33,336	347	33,684

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産、エンジニアリング、商事、物流他を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額347百万円は、主として内部取引に係る調整額です。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

4. 補足情報

2017年3月期 第2四半期決算説明参考資料

◎連結経営成績

(億円)

		第2四半期(累計)		通期(予想)	
			対前年同期増減		対前年増減
売上高	生活産業資材	3,018	9		
	機能材	1,031	△59		
	資源環境ビジネス	1,277	△82		
	印刷情報メディア	1,455	△80		
	その他	1,307	△28		
	調整額(注)	△1,159	△22		
	計	6,929	△263	14,100	△236
	国内	5,097	17		
	海外 (海外売上高比率)	1,833 26.4%	△280 △2.9%		
営業利益	337	52	720	△17	
経常利益	128	△210	500	△124	
当期純利益(親会社株主に帰属)	83	△89	330	177	

(注) セグメント間の内部売上高又は振替高に係る調整額

為替レート(円/US\$)	105.3	△16.5	105.2	△14.9
---------------	-------	-------	-------	-------

減価償却費(億円)	359	△36	729	△57
設備投資額(億円)	204	△17	580	80

◎連結就業人員

(人)

	2016年9月末		2017年3月末(予想)	
		2016年3月末比		2016年3月末比
期末就業人員数	35,358	1,753	35,514	1,909
国内	17,093	248	17,023	178
海外	18,265	1,505	18,491	1,731

◎連結財政状態

(億円)

	2016年9月末	
		2016年3月末比
総資産	18,418	△931
純資産	6,837	△472
有利子負債残高	7,375	△402